

中村理事長



## 機動隊員等を励ます会

# 創立50周年激励会開く

## 中村理事長「積極的に支援継続」

機動隊員等を励ます会は5日、東京都港区の明治記念館で第51回定時総会と創立50周年

記念激励会を開催した。総会には会員123人が出席。理事・監事の選任を行い、中村

真一理事長（日鉄物産社長）、内田裕之副理事長（合同製鉄社長）、廣瀬孝副理事長（日本製鉄副社長）が重任となった。激励会には警察幹部や機動隊員、会員約300人が出席し、懇親を深めた。

あいさつに立った中村理事長は「機動隊の主な任務は安保闘争などのデモ警備から国際

はせながら、次の世代に向けて会のあり方を考えるとともに今後も積極的に活動を展開していきたい」と感謝と激励の言葉を述べた。

来賓あいさつに続き、内田副理事長の発声で乾杯。会員は機動隊員と歓談し、任務を全うする日々の精励を称えた。会の小山巖相談役による記念のビデオ講演「励ます会50周年を振り返って」を上映し、機動隊の歴史、会の歩みや主な活動などを紹介。会の終盤に演歌歌手の橋幸夫氏が登壇し、励ます会恒例の唱歌「この世を花にするために」を合唱し、廣瀬副理事長の万歳三唱で中締めとした。

会合などの大規模警備などに重点が移ってきたが『治安維持の最後の砦』としての役割はいまも変わりない。台風や震災など自然災害が激甚化し、機動隊員はじめ警察関係の皆様の救援、捜索活動が頻度、規模ともに大きくなっており、大規模警備や災害時の救援、捜査活動に対して引き続き支援を行っていく。創立50周年にあたって『機動隊員等を励ます会50年史』を発行し、設立の理念や当時の時代背景に思いを

同会は1972年の浅間山荘事件を契機に治安確保の最前線で身を挺して奮闘している機動隊員などを民間の立場から激励・支援する有志が集まり、74年3月に任意団体として設立された。社団法人、一般社団法人と変わり、今年3月に創立50周年を迎えた。会員数は全国約1100人（法人約200社、個人約900人）、組織は東京本部と8支部（北海道・東北・北陸・千葉・名古屋・大阪・中国四国・九州）。